

1. 評価結果概要表

平成19年 11月 2日

【評価実施概要】

事業所番号	2071500330		
法人名	医療法人社団 敬仁会		
事業所名	グループホームまほろば		
所在地	長野県塩尻市宗賀1295番地 (電話) 0263-54-8585		
評価機関名	株式会社福祉経営サービス研究所 サービス評価推進室		
所在地	長野県松本市深志3丁目7番17号		
訪問調査日	平成19年10月31日	評価確定日	平成19年12月28日

【情報提供票より】( 19年 10月 10日 事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 13年 5月 1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	8 人	常勤8人	非常勤0人 常勤換算7人

(2) 建物概要

建物構造	鉄骨 造り	
	1 階建ての	1 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	50,000 円	その他の経費(月額)	10,000 円
敷 金	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有 ( 100000円)	有りの場合 償却の有無	無
食材料費	朝食	430 円	昼食 430 円
	夕食	430 円	おやつ 40×2 円
	または1日当たり 円		

(4) 利用者の概要 ( 10月 10日 現在)

利用者人数	9 名	男性 5 名	女性 4 名
要介護1		要介護2	5名
要介護3	3名	要介護4	1名
要介護5		要支援2	
年齢	平均 84 歳	最低 76 歳	最高 92 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	桔梗ヶ原病院・鴨居歯科
---------	-------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

塩尻市の中心街から西の木曾に向かう国道19号線の北側に面して接し施設があり、塩尻駅からのバスが施設前の国道に停車し交通の便が良い、施設は、経営母体である桔梗ヶ原病院に接した平地にあり、周囲にはぶどう園・高原野菜の畑が広がり農家・ワイン工場等が点在する環境の良い場所に位置している。施設は、木造平屋建てで居室・居間ともに季節の花飾りや植木鉢・利用者の手作りの壁飾りが掛けられ、意識向上への配慮がされている。職員は、経験豊かな良く指導された職員が、「その人らしい生活が出来る家庭的な環境の基で、穏やかで安らぎのある、障害・認知症の進行の抑制に繋がる介護」を目標に日々の介護に努力されている。

【重点項目への取組状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	前回の施設の外部評価は、昨年実施されているが、改善要望点等なく、引き続き良好な介護が継続されている。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	新方式による自己評価の意義を良く理解され、職員全員が各項目ごとに検討し改善部分の発見に努められ、今以上の改善に向けた努力事項を全項目に示され、全職員の意気込みが示されている。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	今年7月21日に運営推進委員会の委員にホーム「まほろば」の内情を理解していただく目的で、家族会の状況体験をしていただき意見交換の場としましたが、運営に関わる意見交換までには至らなかった。今後会議の回数を重ね、提案された意見等に付いては、職員全員で検討をし介護に活かしていく意向が示された。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	家族会の開催・家族等来所時の意見の聞き取り・意見箱の設置による苦情や意見の申し出を促す対応に努められているが今年に入ってから苦情・意見の申し出の受理がない。あれば、職員全員で施設運営に反映していきたい。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	地域との連携に付いては、運営推進会議の立ち上げと施設訪問の実施・ボランティアの受け入れ等徐々に連携の輪も広がりつつあるが、周囲は農家・農園地帯で利用者の散歩等でのかわりもあり、機会を見つけてさらに交流の輪を深めていく努力をしたい、旨の意向が示された。

## 2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域密着型の施設としての理念として一部見なおしがされ、「利用者の生活暦を尊重し、地域の中でその人らしく暮らしつづけられる施設作り」を理念とし、契約書や広報誌にも明文化されている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	カンファレンスやミーティングにおいて常に理念の確認がされ、職員個々の年間努力目標設定の中にも、理念に基づく目標設定を義務づけ日々の介護に取り組まれている。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	法人施設相互間の交流はしているが、利用者のADLの低下により外出が困難になった方が多くなったこともあり、付近住民との交流があまり出来ていない。	○	利用者徘徊時の通報協力依頼を含め今以上に地域との交流が深まるよう努力が望まれる。
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価にたいする意義が十分に理解され今回の自己評価に職員全員で取り組まれ、改善点の発見に努め、職場改善に活用されつつある。		

グループホームまほろば

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議の立ち上げがされ会合も開かれているが未だ具体的な意見の汲み上げに至っていないが、今後意見の汲み上げに努め、サービス向上に活かしていきたい。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	法人として市町村担当者との交流はあるが、ホーム独自の交流はあまりない。	○	市町村は、グループホームの指導・監督に当たる役目と利用者ニーズ情報を抱えており、これら情報入手のため及び、施設から利用者の状況・経営に関する困窮状況の提供を含め積極的な情報交換がされるよう望まれる。
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	月々の利用料の請求時に、行事の際の写真や病気受診後の経過、金銭管理状況、日々の暮らしの様子等家族に安心を与えるよう報告すると共に、家族来訪時には、積極的に情報・意見交換につとめられている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	上記の家族への情報報告時での苦情の申し出の依頼、家族会・家族アンケートの実施等による意見・不満・苦情の意思表示の場を設け、出された意見等については施設の運営や介護の面に反映させる努力がされている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の異動を出来る限り制限すると共に、やむを得ずの異動や新人職員の入所の際は、申し送りや引継ぎの徹底・ケア体制の調整に努め、利用者へのダメージを防ぐ配慮がされている。		

グループホームまほろば

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内で、新人・現任の職員に対する定期的な研修マニュアルが定められ、指導される他、日常のミーティングやカンファレンス時での指導・意見交換、研修授研者の伝達による各人の技能、技術向上への努力がされている。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム連絡会や講習会への参加のほか他の施設からの施設見学依頼の受け入れ等には対応している。	○	ホームが属する法人は各種の介護施設を有する団体で周辺地域の中での牽引力ともなれる集団であり、周囲の介護施設との連携を今以上に進められ、より良い質の高いサービスの提供に向けた情報交換がされることが望まれる。
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	家族と良く相談のうえ事前面接、家庭訪問をし利用者の状況を知り、試験入所や徐々に施設になじんでもらう工夫がされている。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	施設側の時間や行事に利用者の行動を合わせるのではなく、利用者の生活ペースに沿い、一緒に過ごす時間を多くし、対話を重ね学んだり、支え合う関係が実行されている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々のミーティングやカンファレンスで職員に利用者への声掛けを大切に、利用者の言葉や行動を真剣に受け止め、一人ひとりの希望や意向を把握し、利用者本位の暮らしが出来るよう配慮することが指示されている。		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	利用申し込みのあった利用者には、家庭訪問や関係者との面談をし利用者の状態を詳しく把握し暫定計画を立て三週間くらい後、職員全員によるカンファレンスを開き本計画を検討する方法がとられている。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	日々の介護の中で、利用者のさまざまな変化の把握に努め、本人や家族、主治医等と話し合い、必要に応じて見なおしがされている。		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	法人の有する、各種介護施設の機能を生かし柔軟な支援がどこまで出来るか今後の課題として検討中である。		

グループホームまほろば

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入所時に協力医療機関がかかりつけ医となることを説明し、同意を得ると共に、以前からの各自のかかりつけ医での診療を望まれるときは、施設で移送対応をしている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	法人内の病院・介護施設を利用することにより、重度化や終末期に向けた介護が可能であることを利用者・家族に説明し、その都度、関係者全員で方針を決めるように努められている。		
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1) 一人ひとりの尊重</b>					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	プライバシー保護のマニュアルも作成され日々のミーティングでも、職員一人ひとりが誇りやプライバシーに配慮した言葉掛けや対応を行うよう話し合わせられ実行に努められている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	日々の日課は定められているがそれにとらわれることなく各自のペースに沿って思い思いの時間を過ごせるよう介護にあたられている。		

グループホームまほろば

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の食べたい食事のリクエストを聞き、季節感溢れる旬の食材を利用し、利用者と職員で味見しながら食事作りをしたり、雰囲気を変え中庭で食事会をする等楽しい食事時間を過ごす工夫がされている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	週2回の入浴日と時間の定めはされているが、希望があれば入浴の準備をし、ゆっくりと入浴を楽しんでもらえるよう配慮がされている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者の出来る範囲で畑仕事や食事の準備・片付け個々の趣味に合った物作り等、日々の生活に張りが出るよう、声掛けがされている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	体力の低下で外出できる利用者が次第に少なくなっているが、出来る限り戸外での時間を過ごされるよう、声掛け支援がされている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	ホームのすぐ前が交通量の多い国道に面していることと家族からの要望もあり、玄関からの利用者の出入りを制限するため玄関のみ施錠がされているが他の出入り口は、鍵をかけないケアに取り組まれている。		

グループホームまほろば

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	同一敷地内に、法人母体の病院・介護施設が集中しており、法人全体で取り組む災害対策マニュアルも定められ、年に2回の合同訓練がされると共に、緊急通報体制表や緊急連絡網の整備もされている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養士による、栄養バランスのチェックや日々の水分量のチェックへの配慮もされている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用空間には、季節感のある生け花や、植木鉢が配置されているほか、利用者の手作りの壁掛けや暖簾が掛けられ、和風の落ち着いた雰囲気的空間作りがされている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者個々の居室には、思い思いの写真・絵画・壁飾り等が自宅から持ち込まれ、居心地良く過ごせるよう工夫がされている。		

※  は、重点項目。

※ WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票(様式1)を添付すること。